

FOCUS

追いかける。大学生。

学生流むらづくりプロジェクト 木の家

ログハウス建設

地方の活性化を目指し、去年発足した「学生流むらづくりプロジェクト 木の家」。プロジェクトの柱であるログハウスづくりの第一歩となる地鎮祭が、7月9日、兵庫県多可郡多可町で行われた。



建設予定地の観音寺集落は、多可町加美区に25ある集落の一つ。観音寺集落の永井区長と、神戸大学経済学部の藤岡准教授からの提案をきっかけに、「学生流むらづくりプロジェクト 木の家」は誕生した。「地方をより元気にする」を活動理念に去年の9

月から活動を始め、現在、メンバーは50人程度。「大いに楽しみ、大いに学ぶ」をモットーに、これまで多可町のイベント活動や、情報発信を行ってきた。その中でも一番の目玉は、一年以上かけて完成させるログハウスづくりだ。

大いに楽しみ、大いに学ぶ 学生目線で地域活性図る

建設は当初4月末を予定していたが、村の住民の要望を受け、7月に地鎮祭を行ってからの建設を始めることに決めた。「最初は村の人との間に壁があったような気がしたが、(建設まで期間をおいたことで)村の人とやりたいことを一緒に考えて、腹を割って話せるようになった」と代表の山崎陽介さん(神戸大・4年)は話す。

今後は、月に1回の活動や長期休暇での合宿を通して少しずつ建設を進めていく。ログハウスの完成予定は来年の9月。完成後は、観光客や地域の住民に向けて、宿泊施設や休憩所として開放するという。そのほかにも、「養蜂や、ビオトープの建設など、アイデアはたくさんあります」と夢は膨らむ。「やっとスタートを切れたという感じ」と山崎さんは笑顔を浮かべた。村の活性化への道のりは、まだまだ始まったばかりだ。

UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです